

2022 年度 第 2 回 公務員総合学科 教育課程編成委員会 議事録

YIC 公務員専門学校 応接室

2023 年 3 月 22 日（水）11：00～12：00

出席者：外部委員

澤村 有利生 様（社会福祉法人 長門市社会福祉協議会 常務理事 事務局長）

阿部 誉久 様（山口商工会議所 企画推進部長 経営指導員）

本校教職員

中川 達也（校長）

田中 秀樹（副校長）

飯田 直樹（事務長）

久永 美治（公務員総合学科 学科長）

橋口 浩太（公務員学科 学科長）

1、校長あいさつ

2、本校の取り組み状況の説明

（1）2022 年度の就職状況について

（橋口）

2022 年度の公務員試験 1 次試験と公務員最終合格の合格率はどちらも 2021 年度より上昇した。また、市町村職員・警察官・消防官については 2021 年度よりも内定者数が増加した。進路決定率も 100%で、学生の進路を決めることができた。

（澤村様）

福祉系の公務員よりも、給料の高い企業などに就職したい若者が増えた気がする。また、就職しても働きにくい職場の場合すぐに辞職する若者が多い。

（阿部様）

若者の離職率は確かに増加している。就職して 1 年目は社会生活に慣れて、仕事も勉強する期間なので、まずは 1 年間乗り越えてほしい。

（田中）

公務員総合学科 2 年の学生は 1 年時にインターンシップ等に参加して職業理解を深めている為、ミスマッチも少なく離職率も低い。他には、地元を離れて 1 人暮ら

しをしながら就職した卒業生は、心身ともに疲れて、地元で再就職する場合もある。

(2) 2022 年度の検定試験結果について

(久永)

2022 年度は公務員総合学科 1 年で取得する資格に 2 点の変更があった。1 点目は、「ニュース時事能力検定」の代わりに「NTT コミュニケーションズ主催インターネット検定ドットコムマスター Basic」を受験した。2 点目は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となっていた「やまぐち歴史・文化・自然検定（初級）」が再開した為、受験した。

また、学生から授業を担当している教員に対して、教え合いがしたいので授業でグループ学習を取り入れてほしいという意見が出るほど、クラス全体で資格取得に向けて良い雰囲気を作ることができた。

結果としては、全体的に 2021 年度と比べて合格率が上昇した。2023 年度は、更に合格率を上昇させるために、これまで同日受験であった検定試験の受験日をずらし、検定試験に向けた授業内容を改善することを考えている。

(澤村様)

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、オンライン授業がいつでもどこでもできるようになり、良い環境になったと思うが、自分がやる気にならないと勉強しない為、個人差がある。その点、対面授業の場合は、周りに勉強している人が見える為、自分も勉強しないといけない気持ちになるので、合格率を上げるには対面授業の方が良いと考えている。また、就職後に PC の使用方法等について細かく指導する就職先は少ない為、学生時代に文書の作成について基礎知識や機能の使い方を学んでいると即戦力として実務能力があると評価される。

(阿部様)

公務員試験の合格だけでなく、YIC で取得可能な検定資格は就職後に役立つ為、学生にはぜひ取得を目指してほしい。

(田中)

保護者からも、YIC では公務員試験の合格だけでなく、ビジネス系の資格を取得できるところが良いと評判になっている。

(3) 2022 年度の公務員総合学科 1 年生の年間行事について

(久永)

2022 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響はほぼ受けることなくインターン

シップ実習やボランティア活動を実施することができた。

(橋口)

インターンシップに参加した自治体について、興味を持ち実際に受験した学生が出たので、職業理解を深めるだけでなく、就職先の選択にも役立った。

(田中)

YIC 公務員専門学校では公務員試験の勉強だけでなく、インターンシップ実習やボランティア活動などの校外学習も充実していることが強みなので、今後も力を入れたい。

(4)「学校案内パンフレット 2024」について

(田中)

パンフレットの中に、アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーについて改訂して掲載している。また、HPでも情報公開しており、時代に合わせて変化させていく。

3、本年度の本校教育課程に対するご意見等

特になし

4、その他（今後の予定等）

(田中)

次回は、7月に実施する予定である。

以上